

平成28年度 第 3 回教育委員会定例会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第9号 垂水市招致外国青年任用規則の一部改正について</p>	<p>語学指導を行う外国青年への所得税及び住民税の課税の明確化を図るため規則の一部改正をしたことについて、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第10号 平成28年度6月補正予算案についての市長への意見申出について</p>	<p>6月補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第11号 垂水市社会教育委員の委嘱について</p>	<p>委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 2年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第12号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について</p>	<p>委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 2年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第13号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について</p>	<p>委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 2年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第14号 垂水市視聴覚ライブラリー委員の委嘱について</p>	<p>委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	

<p>報告第15号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について</p>	<p>(任期) 2年 委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 1年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第16号 市スクールカウンセラー、県スクールソーシャルワーカー、県スクールガードリーダーの委嘱について</p>	<p>市スクールカウンセラー等の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 1年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第17号 垂水市教育支援委員会委員の委嘱について</p>	<p>委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 2年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第18号 垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について</p>	<p>委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 1年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第13号 垂水市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について</p>	<p>垂水市いじめ問題対策連絡協議会委員を委嘱しようとするものである。 (任期) 1年</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第14号 平成28年度垂水市立学校評議員の委嘱について</p>	<p>平成28年度垂水市立学校評議員を委嘱しようとするものである。 (任期) 1年</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>

平成28年度第 3 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成28年6月17日（金）</p> <p>午後3時00分</p> <p>↓</p> <p>午後5時01分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育委員長 野村 繼 治</p> <p>教育委員 田原 正 人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛 迫 幸 平</p> <p>教 育 長 長 濱 重 光</p>	<p>教育総務課長 池 松 烈</p> <p>学校教育課長 下 江 嘉 誉</p> <p>社会教育課長 野 嶋 正 人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成28年度第3回教育委員会定例会を開会した。
議案第13号から議案第14号までの2件は非公開で審議する旨、委員長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成28年度第2回教育委員会定例会会議録の承認

承認

3 議 事

- 報告第 9号 垂水市招致外国青年任用規則の一部改正について
- 報告第 10号 平成28年度6月補正予算案についての市長への意見申出について
- 報告第 11号 垂水市社会教育委員の委嘱について
- 報告第 12号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について
- 報告第 13号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について
- 報告第 14号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について
- 報告第 15号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について
- 報告第 16号 市スクールカウンセラー、県スクールソーシャルワーカー、
県スクールガードリーダーの委嘱について
- 報告第 17号 垂水市教育支援委員会委員の委嘱について
- 報告第 18号 垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について
- 議案第 13号 垂水市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- 議案第 14号 平成28年度垂水市立学校評議員の委嘱について

4 その他

垂水市教育委員会の事務の点検及び評価について

5 委員並びに教育長報告及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議事	<p>報告第 9 号 垂水市招致外国青年任用規則の一部改正について</p>
学校教育課長	<p>語学指導を行う外国青年への所得税及び住民税の課税の明確化を図るため規則の一部改正をしたことについて、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。</p>
田原委員	<p>3年目になりましたのでという説明があったが、普通は2年間なのか。</p>
学校教育課長	<p>普通は2年間。3年目に入ったときは、報酬月額を上げて支給する。A L Tの本国との条約により課税のことが明確に謳われていなかったのも、そのことをはっきりさせる。</p>
田原委員	<p>2年間の任期であればこれはなかったということか。</p>
学校教育課長	<p>2年以内であっても租税条約上課税するというのであれば、取っていないといけない。</p>
教育長	<p>日本と外国とは租税条約というのがあり、外国から日本に来た場合に税を取らなくていい国と取らないといけない国がある。その税を取る場合、税負担を市が負担するのか、本人が負担するのかがはっきりさせるために改正するものである。</p>
委員長	<p>これは、これからもずっとか。2年目、3年目と関係があるのか。</p>
学校教育課長	<p>国との条約による。</p>
	<p>報告第 10 号 平成28年度 6 月補正予算案についての市長への意見申出について</p>
教育総務課長	<p>補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告した。</p>
教育長	<p>演劇「蒼空～空どこまでも蒼く～」公演事務委託とある。去年が戦後70年であったので実施したかったが、できなかった経緯がある。そこで本年は、埼玉県インディゴプランツという劇団をお招きして、8月19日金曜日午後6時30分から文化会館で演劇をする経費である。委員の方々にも是非御覧いただきたい。平和教育のためにもとてもいいもので、各学校のPTAに働きかけをして、親子で来てほしい。小中高生は無料で、一般は500円である。鹿屋市は3,500円、始良市は2,500円、それぐらいの価値のある公演である。県の文化財団から50万円の補助があり、安くでできることになった。是非子供達に見てほしい。御覧になったら、感動されると思う。昨年、国文祭で海援隊を招致、年配の方々が大変喜ばれた。1年に1回くらいは市民の皆様が喜ばれるような自主文化事業を企画していきたい。</p>

委員長	宣伝広報をうまくやってほしい。
社会教育課長	<p>報告第 11 号 垂水市社会教育委員の委嘱について 委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。 (質疑なし)</p>
社会教育課長	<p>報告第 12 号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について 委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。 (質疑なし)</p>
社会教育課長	<p>報告第 13 号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について 委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。</p>
中谷委員	たくさんいらっしゃるが活動が見えない。御自分の意志か、頑張ろうという気持ちでやっていたらっしゃるのか。
社会教育課長	各地区に3名程であるが、垂水地区は多い方である。各地区の公民館にもこういう青少年育成の部会があり、これに登録されている方々の中から、各公民館から推薦であげてもらっている。各校区でも頑張っておられる。来週青少年育成指導の会を予定しており、その中で活動についての協議も予定しているので、外部の方々からは活動が見えにくいと報告をし、また、活動の状況等を市報等で広報していきたい。
委員長	委員の方々の活動報告書、そのような様式はないのか。
社会教育課長	報告がある。
委員長	各公民館にあがってくるのか。
社会教育課長	各公民館であがってきたのを整理して、こちらにあがってきている。
委員長	委員からは、その活動が見えていないということだが。
社会教育課長	あがってきた報告をしっかりとチェックし、今後の活動に活かしていきたい。
田原委員	社会教育課のとき担当をやっていたが、各地区から街頭補導等を実施し

	<p>たときのものなどをまとめたものがあがってくる。それらを係がまとめて、青少年育成会議等で報告しているが、状況として、あまり危険な兆候にあるようなものがないので、活動が見えにくくなっているのかもしれない。かつて自分が活動をやっているときは、夜間活動など大変忙しかった。</p>
	<p>報告第 14 号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について</p>
社会教育課長	委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。
委員長	1号委員、2号委員の違いは。
社会教育課長	1号委員は学校関係。2号委員は社会教育関係ということで、保育園、幼稚園に入ってもらっている。
	<p>報告第 15 号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について</p>
学校教育課長	委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。 (質疑なし)
	<p>報告第 16 号 市スクールカウンセラー、県スクールソーシャルワーカー、県スクールガードリーダーの委嘱について</p>
学校教育課長	市スクールカウンセラー等の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。 (質疑なし)
	<p>報告第 17 号 垂水市教育支援委員会委員の委嘱について</p>
学校教育課長	委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。 (質疑なし)
	<p>報告第 18 号 垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について</p>
学校教育課長	委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。
田原委員	以前から就学支援制度委員会があったが、特別支援連携協議会は前から

	あった制度か。
学校教育課長	数年前、5、6年くらい前から新しく入ってきた組織。就学指導というより就学支援全般的なもの、学校、医療福祉機関などと、連携のしかたを協議したりする。
委員長	ダブっているような気がするが。
学校教育課長	委員としては重なりが多い。
委員長	こういうのは、簡素化ということではなく、新たに、特別支援連携協議会の委員が設置された。
学校教育課長	運営的には、本市では、同日に特別支援連携協議会を先に開いて、支援委員会を開く。中身としては、支援委員会で、個別の子をどうしていくかさらに具体的になっていく。
葛迫委員	任期が1年、2年とあるが。
学校教育課長	規定によりそうなっている。2年という考えもあるが、特別支援連携協議会を立ち上げたときに1年としている。
葛迫委員	支援の方は大変だが。
学校教育課長	支援委員会は年間30名くらいを検討していくので。大変であるが、一人一人に合った判断をしている。
学校教育課長	議案第13号 垂水市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について (非公開)
学校教育課長	議案第14号 平成28年度垂水市立学校評議員の委嘱について (非公開)
4 その他 教育総務課長	垂水市教育委員会の事務の点検及び評価について 垂水市教育委員会外部評価委員会に提出する垂水市教育委員会の点検及び評価に関する資料について説明。
田原委員	33ページの点検表だが、いつも迷うのが、評価の2番目委員の研修等のところで、「3 研修の成果が施策に反映されたか」について、私達がいろいろ研修を受けてきて、これをこんな場で提案して事務局で取り上げられ

	て具体的な施策になっていくということだろうと思うが、それが施策に反映されているかと問うていることか。
教育総務課長	委員の先生方が出席された会の感想や行事での活動の状況を報告されているが、それを受け事務局としては、担当課ができれば予算に反映させたり、それから行われる様々な行事、事業に活かしているかを質問の意図としている。事務局の職員の見ただけではなく、委員の先生方の御意見、御感想を基にして、工夫をするところは工夫を、変えられるところは変えていくと、理解している。
田原委員	委員が行事に参加し、その反省とか評価を言い、それをまた、次の会とかに活かしていくと、それが改善されていくとすれば、施策等に反映されたと評価していいということか。
教育総務課長	委員長が以前、会の進行について提案されたが、会の開催時間の制約もある中で、会をスムーズに進行をしながらも、出席された方々にしっかりと内容をつかんでいただく工夫をする会の運営ということなども反映されたことになると思う。
委員長	田原委員の意見はいつもあると思う。我々の言っていること、やっていることが、追跡調査をやって、数字的に、具体的に評価ができていくというわけではない。研修したことを自分自身の身につけ、また、意見を言い、提案をすることで、研修の成果が何らかのかたちで表れていくと。それが、広い意味で反映されたことになるのであれば、確かに点数をつけるのは難しいが、高い点数になっていくのかもしれない。我々は一生懸命やっているのだから。
委員長	他に意見がないようなので、垂水市教育委員会の事務の点検及び評価については承認された。
5 報 告	委員並びに教育長及び課長報告
委員長	教育委員、教育長及び各課長の報告に入る。
委員長	<p>1. 「瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクールについて」</p> <p>報告をするたくさんの方があった。水之上小学校の体育館落成式、生涯学習フェア、学校訪問は、協和小学校、松ヶ崎小学校、境小学校、牛根小学校、柊原小学校、新城小学校。</p> <p>なかでも6月4日の瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクールは、最後の講評をされた八木澤先生の「行進曲のみを主題にしたコンクールは世界的にも珍しい。」という言葉は、印象的で強烈な言葉だった。内容も迫力があり、心の底から感動が湧き上がってくるのを覚える。日常忘れていた感性を思いだした。若くなり、また、かねてないエネルギーをもらった。このようなコンクールが身近なところで開催されることを感謝する。</p>

2. 「学校訪問について」

小学校6校が終了した。各学校すべてにあてはまることとして、清掃が行き届いている。大変清潔感があり、その中で子供達が気持ちよく学習しているという思いを強くした。学習向上のための補助のプリント、到達度を示すもの、子供ひとりひとりの学習結果、細かいところにいたって、学習環境が工夫されて整理されていると改めて感心させられた。改めて感心させられた。子供達がいい環境の中で日々の学習を進めていると強い印象を持った。

田原委員

1. 「水之上小学校体育館落成式、祝賀会について」

5月14日土曜日水之上小学校体育館落成式、祝賀会、中心になってやった。落成式に児童も入れたいので、土曜授業日の10時30分から1時間くらい行った。祝賀会は酒が入るのでその日の夜7時から公民館で開催した。

落成式の方は、市当局、市長、教育長外、児童、工事関係者、保護者、地域の方々など140名くらい参加、厳かに式典ができた。式の終了後には、屋上が津波などの際の避難先ということで屋上に上がった。その日は天気がよくて、屋上から水之上、垂水、高隈山と360度のパノラマで、とても感動した。何よりも初めて子供達が上がって、歓声があがって、飛び跳ねて喜んでた。ああいうのを見ると、改めてよかったなと思った。夜は、祝賀会があって、昼間の方々がほとんど、総勢50名で賑々しく楽しくできた。学校も地域もいいけじめができて、そして、いい施設を作ってもらったと言う気持ちが、地域の方々にあふれていたように思えた。この会を開催するにあたって、教育長、教育総務課長から大変御支援をいただいてありがたかった。

2. 「生涯学習オープニングフェアについて」

5月22日の生涯学習オープニングフェアは、例年になく参加者が多くてびっくりした。今年は講座も工夫されて、市民のニーズに合う講座が開設された。あるいは、新入会員が入りやすいような手立てが工夫された。講座の発表もあり、子供達のダンスも披露されたが、文化の香りのする会だと思った。今後も市民のニーズを捉えた講座を工夫していただけたらありがたい。

3. 「学校訪問について」

学校が非常に綺麗だということをどこの学校もいえる。今回冊子を作成されたからか、学校ごとに設営なんか統一されていたり、学習のしつけなどが徹底されている。気付いたのは、できるだけ子供達に活動させる手立てとか話し合いをさせるとか、そういうものを学習活動の中でだいぶ工夫されているなと思った。それと、学校のカラーというか、そういうものが学校ごとにはっきり見えていて、非常にいいことだ。

中谷委員

1. 「保護者対応について」

保護者対応について、5月17日に電話があって、「自分が病気になってしまった。母子で暮らしているのだから、入院になったら、3人の子供はどうなるのか。助けてください。」という電話だった。私は、小中学校それぞれの

校長先生、教育委員会、相談員に連絡をすぐ取った。すぐ行き渡っていき、母親の治療が始まった。多分、薬の副作用で身体がきついのか、「きつい、きつい。」というメールが入ってきた。その中で、3人の子供達を預ける家を個人で決定された。6月1日に5時間の手術だった。痛みとの戦いだったと思われる。6月14日に退院され、子供達も家に帰り、学校も休まずに登校できた様子。昨日も小学校の先生が元気で来ているとおっしゃってください。本人からは、「これからますます病気との戦い、前向きに前進します。」とメールが来た。本人は、「勇気を持って、人に話を聞いてもらって前向きになれた。」と話している。こういう風に、自分から助けてと連絡をくださるといいが、まだまだいろんなことを抱えて悩んでいる方々のことを、どうして接していけばいいか思案中だ。

2. 「おろごめについて」

400年から続くおろごめが、6月5日実施された。小学校6年生の親頭が今回1人ということで、初めて、協和小の6年生が1人加わってくれた。当日だけは駄目だということで、準備から参加し、みんなで段取りしてくれた。当日は、子供達の生活に日頃ないすさまじい戦いが繰り広げられて、とにかく親の手も誰の手も借りられない、自分の判断で成し遂げなければならない。応援をしていて、子供達も大人になって、どんな困難にも負けないで立ち向かって行ってほしいと思った。

3. 「街中探検について」

おろごめが終わった後、柗原小学校の女の先生が、街中探検にお寺に来たいと頼まれ引き受けた。夫婦で待っていると、3人、1年生が2人、2年生が1人で、自分の家で飼っているミツバチと日本岩亀と遊んでもらって、探検してもらった。先生は普段から毎日日報を発行されていて、その体験が終わった日の夕方訪ねてこられて、カラーで作成をされた日報を持ってきてくださった。先生が話されるには、体験が終わって帰って、「どうだった。」と作文を書いてもらったら、かねて鉛筆を握ったまま動かない子供達が、次から次に文章がでてきて、すごい文章を書いたと。やっぱり体験活動、体験学習というのは、大事なことなんだと改めて思った。これからも応援団でますます頑張りたいと思った。

葛迫委員

1. 「和田英作、和田香苗記念絵画コンクール実行委員会について」

5月30日月曜日、垂水小学校の運動会が順延になった日の午後から、和田英作、和田香苗記念絵画コンクール実行委員会が開催された。本年度は、来年1月9日から15日までの7日間に決まった。最高賞の和田英作賞の絵を企業の方に買い上げてもらおうと決まった。年内に募集し、搬入を12月18日、審査を12月23日市民館大ホールで実施。今年度は森の駅が使用できないので、子供達の絵を文化会館、一般の部門を市民館での展示に決まった。当初、事務局へ、国民文化祭でやっていた幼稚園生の子供達の作品を県内一円から集められないかと伝えていたが、なかなか難しい。先にあった県の教育行政の説明会であった明治維新150周年かごしま文化力向上提案事業で助成金が出ると聞いていたが、募集が終わっていて今年ではできないようである。上限100万円ということであるから来年は是非早めにしてほ

しい。来年県内一円募集してほしい。せっかく国民文化祭でそういう事業ができたので、継承できたらと考えている。和田英作、和田香苗の出身地ということであり、垂水市が先頭に立ってやっていくべき地域おこしであり、市のイメージアップにつながる。

2. 「学校訪問について」

学校訪問については、複式の学校を6校訪問した。すべての学校について言えたことだが、1対1という、先生と児童の1対1の授業が成り立っていて先生達、教師の方々も一生懸命頑張っておられて、本来の教育のあり方というのを見た感じがした。複式ということでマイナスの面というものもあると思うが、そういうことを打ち消すといったような教育が行われていたと印象が強かった。大きな学校ではこういう教育はできないが、垂水市の小さな学校が学力向上に向けて一生懸命やっている姿が見えた。こういう複式の学校が多いという垂水の特徴を活かして、複式でも勉強はできるんだ、学力は上がるんだということを、県内に発表していく機会があればいいのにと、複式の授業を見て思うことだった。複式でも勉強ができる子供達がいっぱい育つんだと、言われるくらいに、垂水市も頑張っていけばいいと思った。

教育長

1. 「水之上小学校体育館落成式、祝賀会について」

水之上小学校体育館落成式、祝賀会は、本来であれば行政側がこういう企画をしないとイケないことである。田原先生に御負担をおかけし、心苦しかったが、多くの方々が参加し、盛大に行えたことは心から感謝申し上げたい。

2. 「瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクールについて」

瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクールについては、残念ながら、垂水小金管バンド、垂水中央中吹奏楽部、垂水市吹奏楽団は金賞を獲れなかったが、中央中の校長先生から夏休みに入ってから市役所において、昼休みに、職員に対して、吹奏楽部が演奏を計画していると伺った。日頃頑張っている職員のリフレッシュと癒しになればというような気持ちからのようである。また、今年ふるさと応援基金で、445万円の予算をかけて、新しい12の楽器を購入してもらった支援への感謝をこめての演奏でもあるようである。

それから、瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクール関係の議会の一般質問で、2年後が第20回の記念コンクール、瀬戸口藤吉翁が明治元年生まれで、生誕150周年、また市制60周年記念になるが教育委員会には何か計画はないのかと質問がなされた。また、併せて、瀬戸口藤吉翁の胸像を作る考えはないかという質問があった。胸像は、本庁の正面玄関横に奥誓二市長の胸像、旧フェリーのターミナル近くには町田一平氏の胸像、中央病院には当時の市長の枝本豊助市長の胸像、3つの胸像がある。市にはこの他の偉人等の胸像は一切ない。胸像を作るかどうかの結論は何も出していないが、2年後の記念大会に向けて、教育委員会としても何かしないとイケないと感じている。10回目の記念コンクールでは、前の晩に、偲ぶ演奏会を抱き合わせて実施している。コンクールの方は15団体出場された。併せて、海上自

衛隊の艦艇が2隻寄港して公開された。最近は佐世保楽隊が来ていただいているが、そのときは、東京音楽隊に来ていただいている。海上自衛隊は6つの楽団があるが、東京音楽隊は最高の楽団。歌姫もいらっしゃるし、2年後に来ていただければと感じている。いずれにしても、市制60周年と合わせて、関係各課と何ができるか考えていかなければならないと考えている。そういう質問があったということを伝えておく。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

5月12日から6月17日までの主な行事等について報告。
併せて、7月11日までの予定についてお知らせした。

6 閉 会